

地域の生物多様性を学ぼう！ 環境DNA分析体験とワークショップ活動

環境DNA×環境教育チーム 代表：修士2年 木谷亮太
指導教員：源利文 教授

活動目的

生物モニタリング手法として発展が目覚ましい環境DNA分析を高校生に紹介、体験させるような環境教育を実施することで、地域の生物多様性や環境保全に対する興味関心を向上させる。

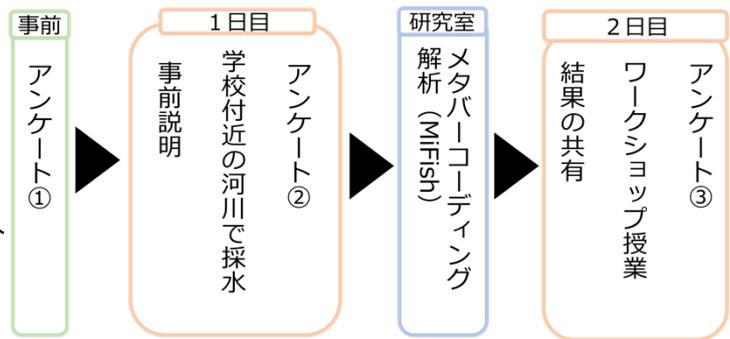
活動の内容

令和5年度は以下の4校で活動した。

- ・兵庫県立龍野高等学校
- ・岐阜県立飛騨神岡高等学校
- ・岐阜県立恵那高等学校
- ・静岡県立焼津中央高等学校

活動の最初、採水後、最後にアンケートを実施し、これらと比較することで、環境教育の効果を確認した。

環境教育活動のフローチャート



環境教育活動の様子（焼津中央高校の写真）



事前説明では、生態系に関する基礎的な内容と環境DNAに関する内容、その採水方法を説明した。

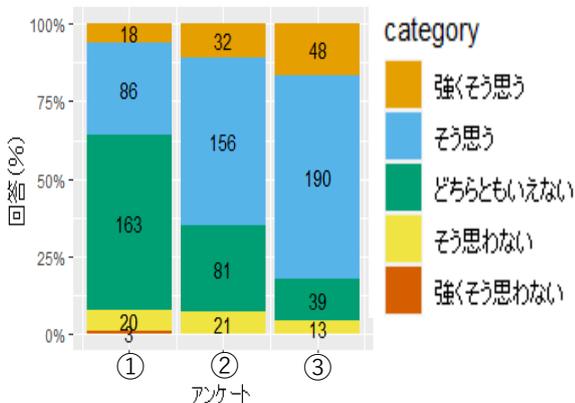


事前説明終了後、高校付近に位置する河川へ移動し、高校生による採水を実施した。



ワークショップ授業では、採水から得られた生息魚類リストを用いて、地域の生物多様性を考えるグループワークを実施した。

アンケート結果



高校近くの川にはたくさんの種類の生き物がいると思うか、という質問への回答は、環境教育を経て向上した。

環境DNAを活用した環境教育は、地域の生物多様性の理解を促進する。

今後は、引き続き多くの学校で環境教育を実施する。その際に今年度で得られた多地点のデータを比較対象として提示することで、地域の多様性への理解促進を目指す。

謝辞

本活動に協力してくださった龍野高等学校、飛騨神岡高等学校、恵那高等学校、焼津中央高等学校の先生方、そして生徒の皆さんに厚く御礼申し上げます。